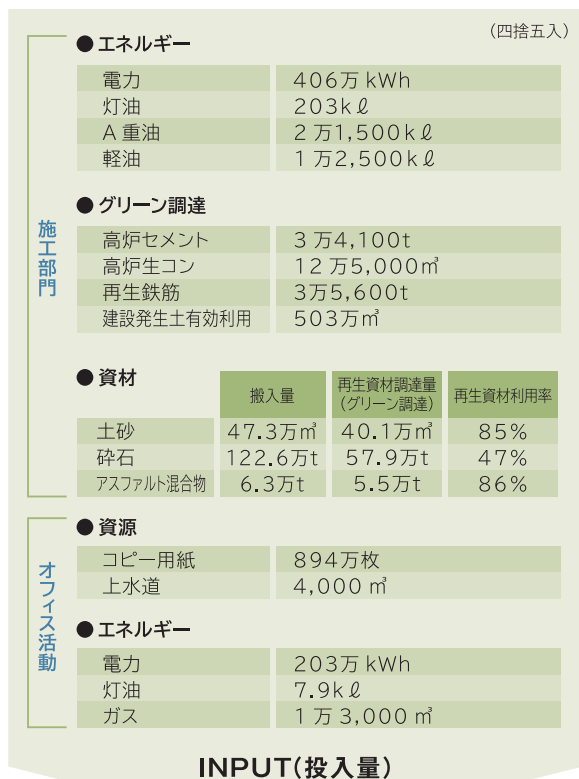
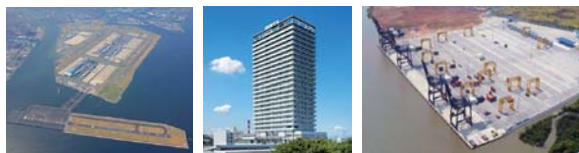


マテリアルフロー



事業活動

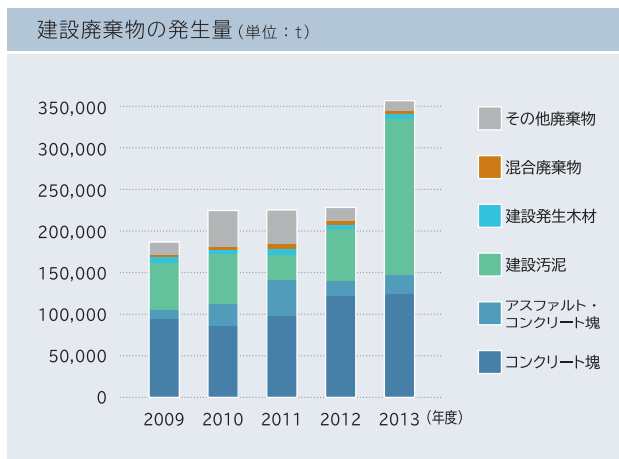


OUTPUT(排出量)



建設廃棄物の発生量

2013年度における建設廃棄物発生量は、35.8万トンで前年度より13万トン増えています。品目別発生比率は、建設汚泥が52.4%と最も多く、コンクリート塊34.7%、アスファルト・コンクリート塊6.7%、その他廃棄物4.0%、建設発生木材1.4%、混合廃棄物0.9%の順になっています。

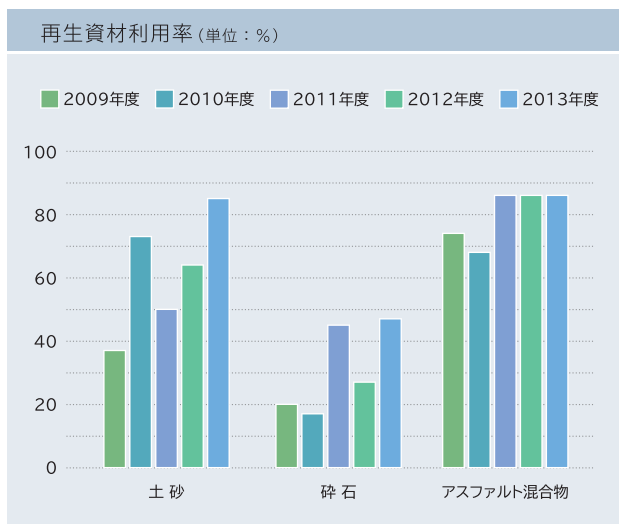


再生資材の利用率

2013年度における建設資材の現場への搬入量は、土砂47.3万m³(44.8万m³)、砕石122.6万トン(79.9万トン)、アスファルト混合物6.3万トン(3.4万トン)でした。

2013年度に搬入した建設資材のうち、再生資源利用率は、土砂85%(64%)、砕石47%(27%)、アスファルト混合物86%(86%)でした。

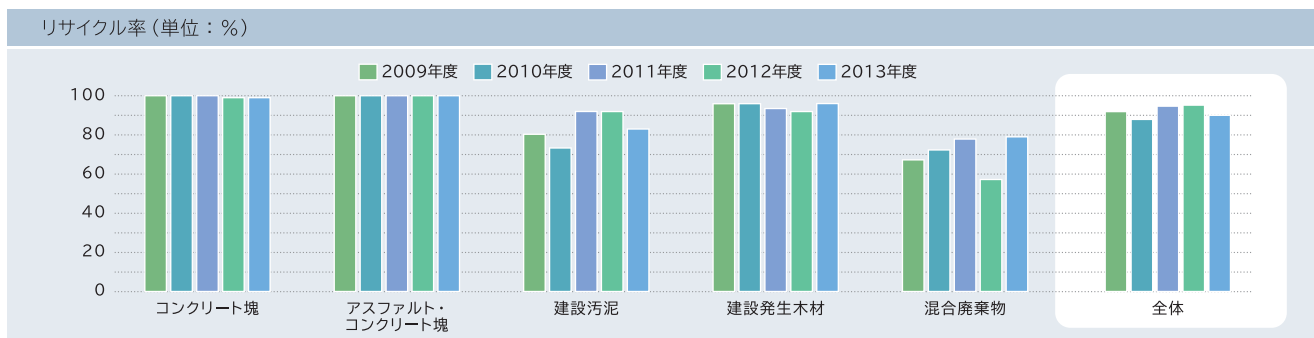
※()内は2012年度実績



建設廃棄物のリサイクル率

2013年度における建設廃棄物全体のリサイクル率は90%で前年度より5%減っています。品目別では、アスファルト・

コンクリート塊100%、コンクリート塊は99%、建設発生木材96%、建設汚泥83%、混合廃棄物79%でした。



効果的な環境保全活動の取り組み

当社は、環境会計により環境保全コストおよび効果を定量的に把握し、環境保全活動を効果的に実施しています。

環境会計の基本事項

■ 集計範囲	東亜建設工業単体(国内)
■ 対象期間	2013年4月～2014年3月
■ 集計方法	サンプリング調査(作業所(施工))と全数調査(オフィス)の併用

■ 環境保全コスト

単位: 百万円(十万円以下は切り捨て)

分類	主な活動内容	2009	2010	2011	2012	2013	割合(%)
事業エリア内コスト ※1		3,644	3,079	4,178	6,396	3,217	94.7
公害防止コスト ※2	作業所における公害防止対策(大気汚染・水質汚染・土壌汚染・騒音防止・振動防止等)	2,717	2,249	3,126	3,219	1,701	50.1
地球環境保全コスト ※2	地球温暖化防止・省エネルギー・オゾン層破壊防止対策	38	87	29	321	8	0.2
資源循環コスト ※1	資源の効率化利用 産業・一般廃棄物のリサイクルおよび処理・処分等	889	743	1,023	2,856	1,508	44.4
上下流コスト ※1		15	15	19	27	24	0.7
管理活動コスト ※1	環境マネジメントシステム整備・運用、環境情報の開示、環境広告、環境負荷監視、従業員への環境教育等	193	172	148	636	115	3.4
研究開発コスト ※3		199	202	41	10	14	0.4
社会活動コスト ※1	NGO・環境団体への協賛金・寄付、地域住民の行う環境活動に対する支援および情報提供等	36	44	24	32	18	0.5
環境損傷対応コスト ※1	自然修復のためのコスト、緊急事態対応費用等	38	4	36	67	10	0.3
合計		4,125	3,516	4,446	7,168	3,398	100.0

※1: サンプリング調査と全数調査併用 ※2: サンプリング調査 ※3: オフィス活動

■ 環境保全効果(オフィス活動)

(単位以下は切り捨て)

大分類	中分類	単位	2009	2010	2011	2012	2013
資源	コピー用紙	万枚	937	857	947	988	894
	上水道	百m ³	84	49	44	42	40
エネルギー	電力	万kWh	314	231	218	215	203
	灯油	kℓ	11	11	11	8.3	7.9
	重油	kℓ	0	0	0	0	0
	ガス	千m ³	18	17	17	11	13
一般廃棄物 ※1	発生量	t	177	32	34	37	35
	リサイクル量	t	84	27	30	32	31
	処分量	t	93	5	4	5	4
有害物質 ※1	蛍光灯安定器 ※2	個	1,077	1,077	1,077	1,102	1,128
	PCBコンデンサー・変圧器 ※2	個	117	117	117	117	117

※1: 本社が対象 ※2: 保管数量